



🌻 学校インターンシップ

いまや就職活動をする大学生にとっては当たり前になっている「インターンシップ」ですが、広島県教育委員会においては、「広島県教師養成塾を活用した『学校インターンシップ』」を行っています。学校インターンシップの募集要項を見ますと、大学1年次20時間以上、2年次40時間以上を受入校において研修することとなっており、そのねらいは次の3点です。

- ・児童とのふれあいを通して教職の魅力を実感し、教育に対する情熱や使命感を涵養する。
- ・教員の仕事を体験し、教員の喜びや苦勞を通して教職についての理解や意欲を高める。
- ・中山間地域等における教育環境や特色等を知り、その魅力を実感する。

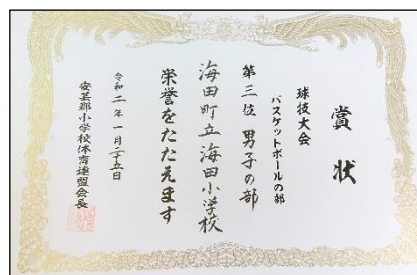
本校でも、今日から大学1年生2名が来て、4日間の学校インターンシップが始まりました。大学生には、1年1組と1年2組に入ってもらっています。

大学3年生で行う教育実習とは違い、学校インターンシップでは授業をするということはありません。授業を観察したり児童と遊びや給食を一緒にしたりしながら、座学では学べない児童の生の様子を実感してもらいます。また、学級掲示やプリントの印刷等を体験しながら、多岐にわたる教員の仕事に触れてもらうことにより、教職に対する視野を広げてもらいたいと思っています。海田小学校の教職員一同も、未来の教師を目指す若者を応援し、教職に対する夢と希望を与えられるようがんばりたいと思います。

🌻 20年ぶりの快挙

1月25日（土）に、安芸郡小学校ミニバスケットボール大会がありました。

海田小学校からは6年生の男子と女子のチームが出場しました。女子は惜しくも決勝トーナメントには進めませんでした。1勝することができました。男子は、2連勝でベスト4に進むことができました。準決勝で敗れはしましたが、海田小のチームが3位以内になったのは、男女を通じて20年ぶりの快挙です。見事、銅メダルを獲得することができました。



🌻 縦割り掃除のよさ

海田小学校では、1年生から6年生までが48の縦割り班に分かれて掃除をしています。掃除時間に校内を回っていつも感心することがあります。それは、子ども達一人一人が、自分の役割を果たしながら一生懸命掃除をしてくれていることです。縦割り掃除をすることで、低学年は上級生から掃除の仕方を学びます。やがて自分たちが上級生になったときには、下級生に教えることが自然にできるようになります。

異学年での関りが薄くなっている現在、縦割り掃除は貴重な場になっています。